



No10. 2025. 12. 24

12月は、ぴっぴの森に少し特別な空気が流れているように感じます。私自身が参加した初めての「ちいさなクリスマスの集い」の感動は森の景色と共に今でも心に残っています。

今年のぴっぴの森の木々にも、子どもたちが手作りしたクリスマソーナメントやリース。氷や折り紙、毛糸など、身近な素材で作られた飾りが、冬の森にそっと彩りを添えています。子どもスタッフの小学生が来ると、「ぴっぴの子のために」と、毛糸で飾りを編んでくれることもあります。今年は1年生のA君から、ガムテープで作った工作の飾りが、段ボール箱に入れられ、お手紙が添えられて届きました。誰かを想って作られたその贈りものを受け取ったおおくりさんが、後日A君を見つけると真っ先に「ありがとう」を伝える姿に、とてもあたたかな繋がりを感じました。

お家人へ「ないしょ」を愉しみながらぴっぴの子ども達が作るプレゼント。私も娘にもらった、いびつだけどとってもかわいいキャンドルが今でも宝物です。クリスマソングも静かな雰囲気のものからクスっと笑っちゃうものまで、つい歌いたくなっちゃうものがいっぱい。絵本の時間はクリスマスにちなんだお話しからそれぞれの空想の世界を楽しんでいます。ランチタイムには「うちにサンタクロースくるんだあ～」、「うちのお父さんはね、夜中まで起きているからサンタクロースに会っちゃうかもね」なんて会話もはずみます。

我が家クリスマスは、長女が生まれてから私の実家に妹弟家族もみんな集まり、大人の忘年会も兼ねて賑やかに過ごすのが恒例になっています。物心がつく頃からは毎年おばあちゃんが「ばばサンタがやってきたよ～」とサンタの帽子とエプロンで変装し音楽に合わせて踊りながら登場するのです。愛情が滲み出たサンタの姿に、みんなでお腹を抱えて笑いながらプレゼントをうけとり、感謝と幸せを感じてきました。子ども達が大きくなってからは、親戚で集まる日と、家族五人で過ごす日をどちらも楽しむようになりました。ちなみに、三人の娘たちは昨年までサンタクロースさんへプレゼントのお願いのお手紙を書いていました（笑）。末っ子の夢を壊さないように姉が大きくなても妹想いにサンタクロースの世界を面白がってきたというところです…。今年は、家族が分かれて暮らす生活でどんなクリスマスを迎えるのだろうと思っていたのですが、冬休みが一番遅く来る高校生にあわせて、末娘と私が暮らす小さな部屋に家族五人が集まることになり、とても嬉しく思っています。食べたいものリクエストがジャンジャン来ているので、はりきって、娘たちと一緒に台所に立ちたいと思います。

クリスマスには本来の意味がありますが、どんなふうに受け止め、どう過ごすかは、それぞれの家庭に委ねられ、様々な在り方がありそうです。私にとっては、家族で過ごす時間や誰かを想う気持ちを、そっと見つめ直すきっかけを頂いているような気がします。

年末に向かい慌ただしい日々が続きますが、この季節が、みなさんにとってあたたかな時間となりますように。今年もありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

：新井恵理

たはただより

種をまく季節に種をまけて、田植えする  
ときに田植えできて、草とりするときに草とり  
できて、稻刈りして、脱穀して…  
巡る季節と子どもたちの成長とが重なって。  
どのときもたいじで、でも振り返ると  
あ、というまで。  
とりこぼしたくない、そのときどきを、  
しっかり味わいたいなあと、思います。  
あわただしくてびっくりするときもあるけど、  
今年もありがとうございました！

# 庭の恵みを食べよう遊ぼう楽しもう♪1月

すっかり葉の落ちた冬の木々。よくみると、葉があった季節にはみつけられない様な物をみつけることができます。



その1つに、鳥たちの姿があります。厳冬期でも小鳥たちは元気よく飛び回ります。

小鳥たちの姿を追いかながら目をこらすと、

枝の間にこんなに不思議な巣がある!

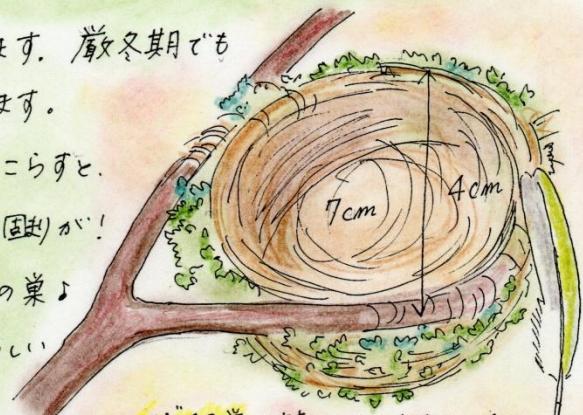
近づいてよくみると、小さな鳥の巣。両手のひらで包めるくらいのかわいらしい

サイズはメジロの巣。じゅかりと

つくってあるので、この季節でも

下腹の羽  
重なると濃い赤に崩れるなど枝に残っています。(産卵は5月~7月頃)

をみつけたり。(キツツキの巣穴) →



メジロの巣: 枝の二叉の部分にクモの糸を巻きつけ、ススキの種やコケをからめてつくります

メジロ  
→他にも幹にじゅかりとまん丸の穴

夏の間にここで、鳥たちが暮らし

命を育んでいたんだよ~といふ跡跡をみつけると

じんわり嬉しくなります。

また、鳥の羽を見つけやすいのもこの季節。

美しい色合の羽をみつけたら何がいいこと

よくみられる鳥たちの鮮やかな羽をいくつか

描いてみたので、羽をみつけたら、どんな

鳥の羽かしら?と調べてみると

楽しいですよ。様々に



部位別の羽がありますが、ここでは

フジサ(風切羽)を中心に紹介しています。

図鑑だけではなくエサ台などを庭につくって

鳥たちの姿、仕草、時には性格?

関係性などをみるのもとても楽しいですよ。

冬イヌサ(ニホンガラシサ)はエサ台づくり

いかがですか?

(: 菜々東)

上いよいよを迎えて下さい♪  
2026年もよろしくお願いいたします。



エサ台にはお水、粗面  
ヒマワリの種、甘橘類など。  
それぞれ、ナズナ(食べられるエサ)  
が鳥によって違うのが  
わかりますよ♪

2025 © 阿部菜々東..